

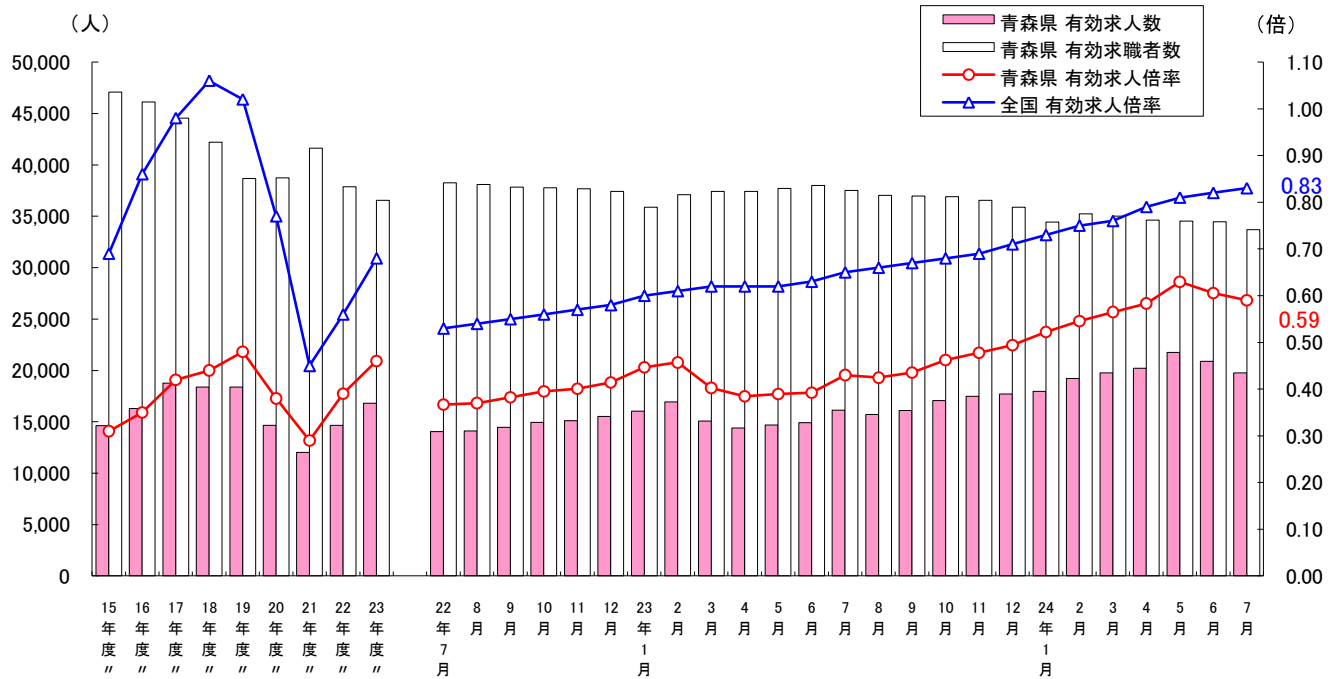
最近の雇用情勢について

(平成24年7月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

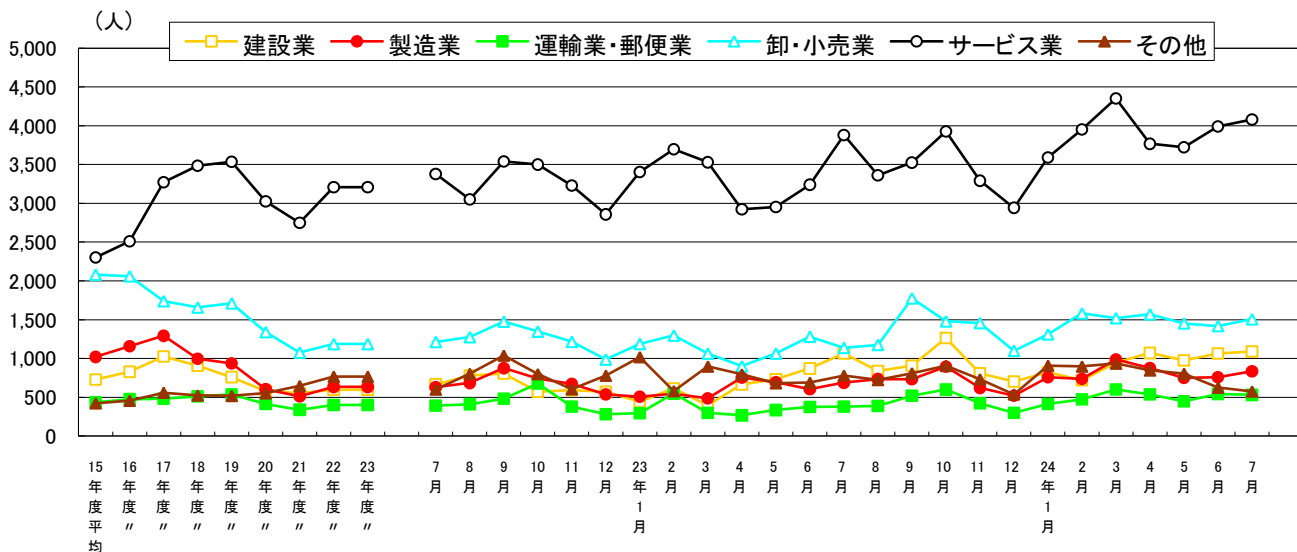
7月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ5.4%減少の19,762人、有効求職者数(同)は2.3%減少の33,688人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント下回る0.59倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

7月の新規求人(原数値)は前年同月比8.7%(686人)増加、前月比2.6%(216人)増加の8,615人。

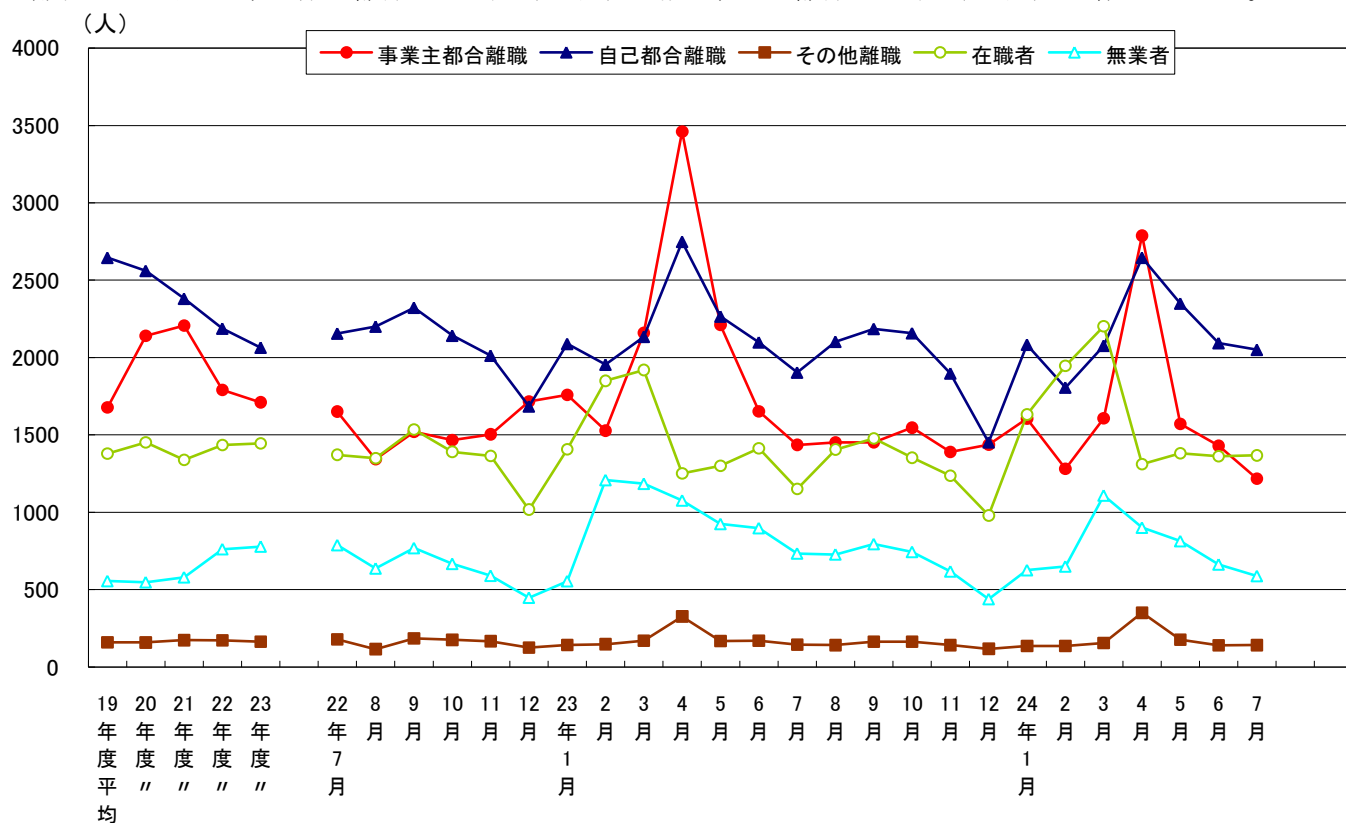
産業別に前年同月と比較すると、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療・福祉、サービス業で増加し、情報通信業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、複合サービス業、公務・その他等では減少となった。製造業では、食料品、飲料等製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業等では減少となった。



平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

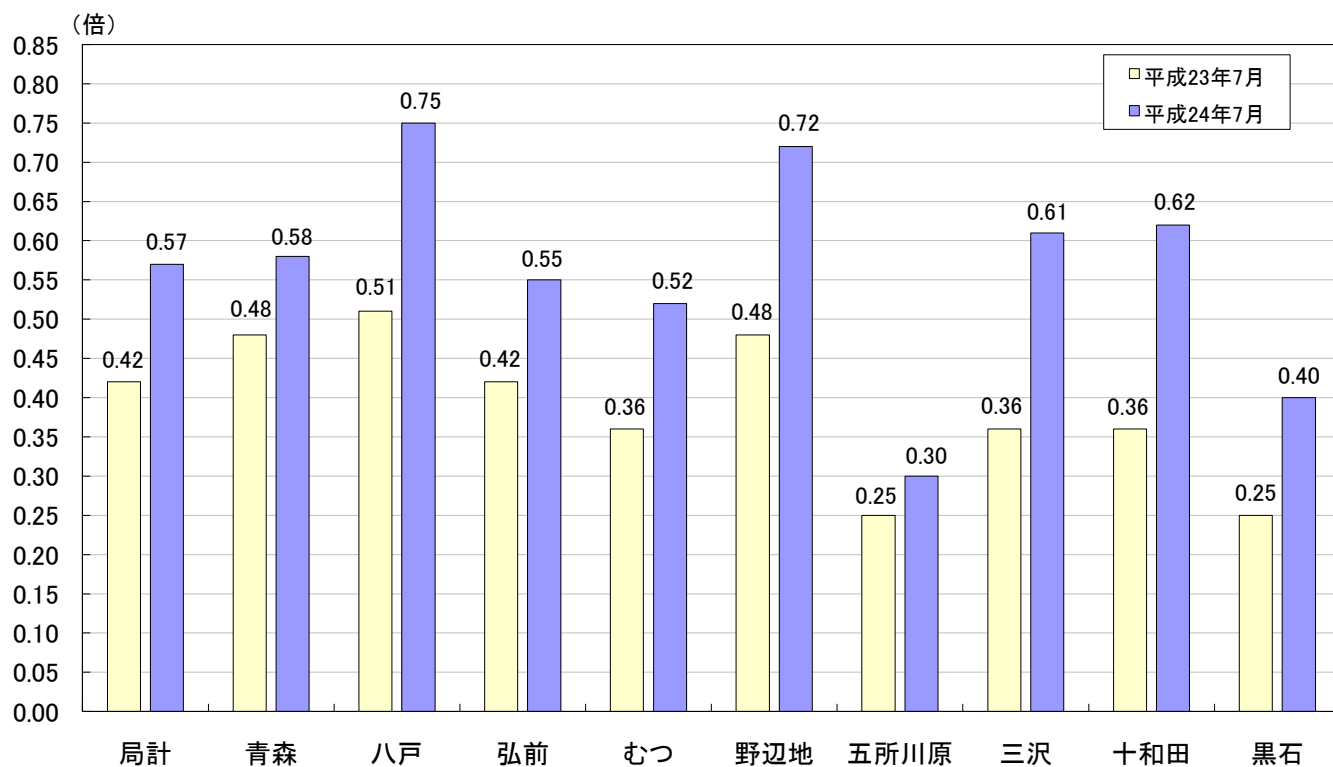
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

7月の新規求職者数は、前年同月比0.1% (4人)減少、前月比5.7% (323人) 減少の5,367人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は18.8% (216人)増加し、離職者は2.1% (74人) の減少、無業者も 19.9% (146人) の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は15.2% (218人) の減少、自己都合は7.7% (147人) の増加となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

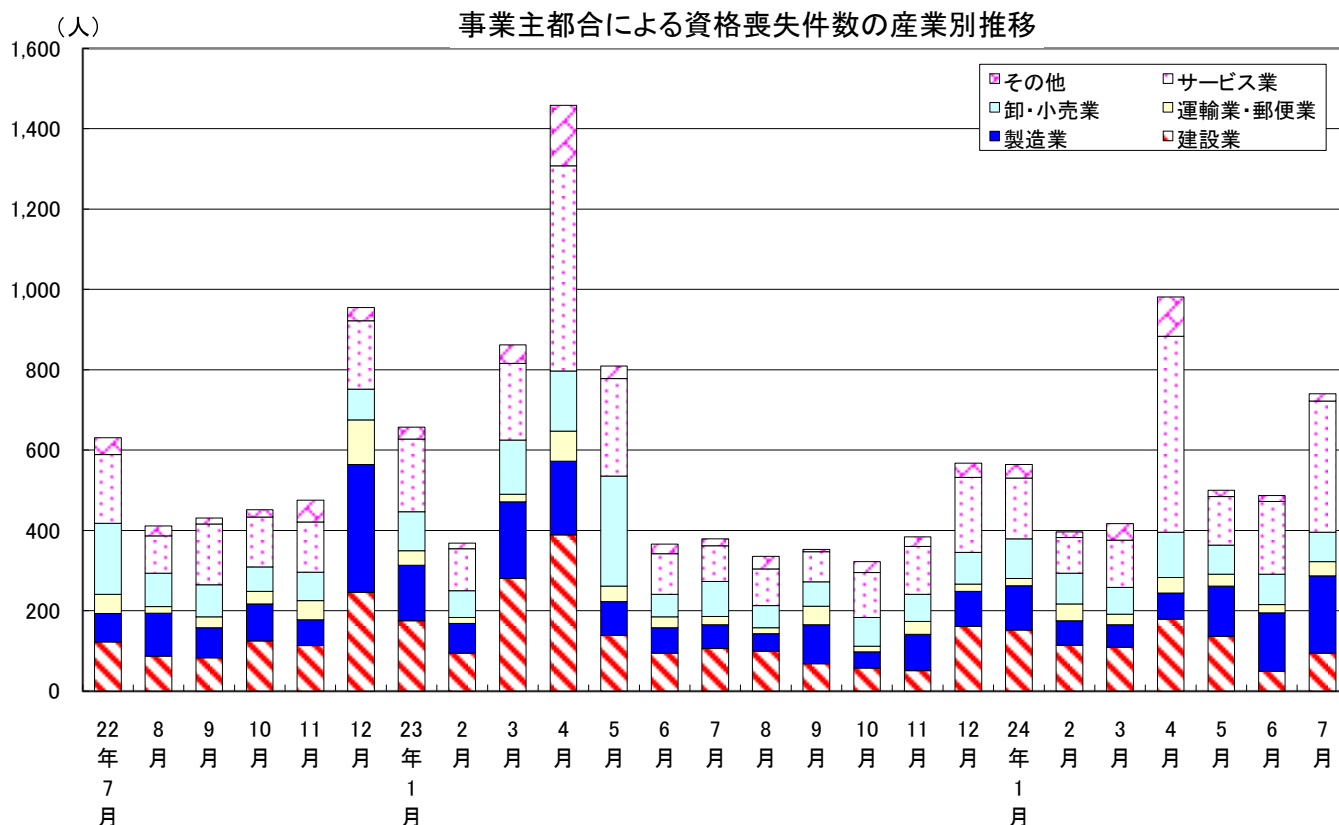
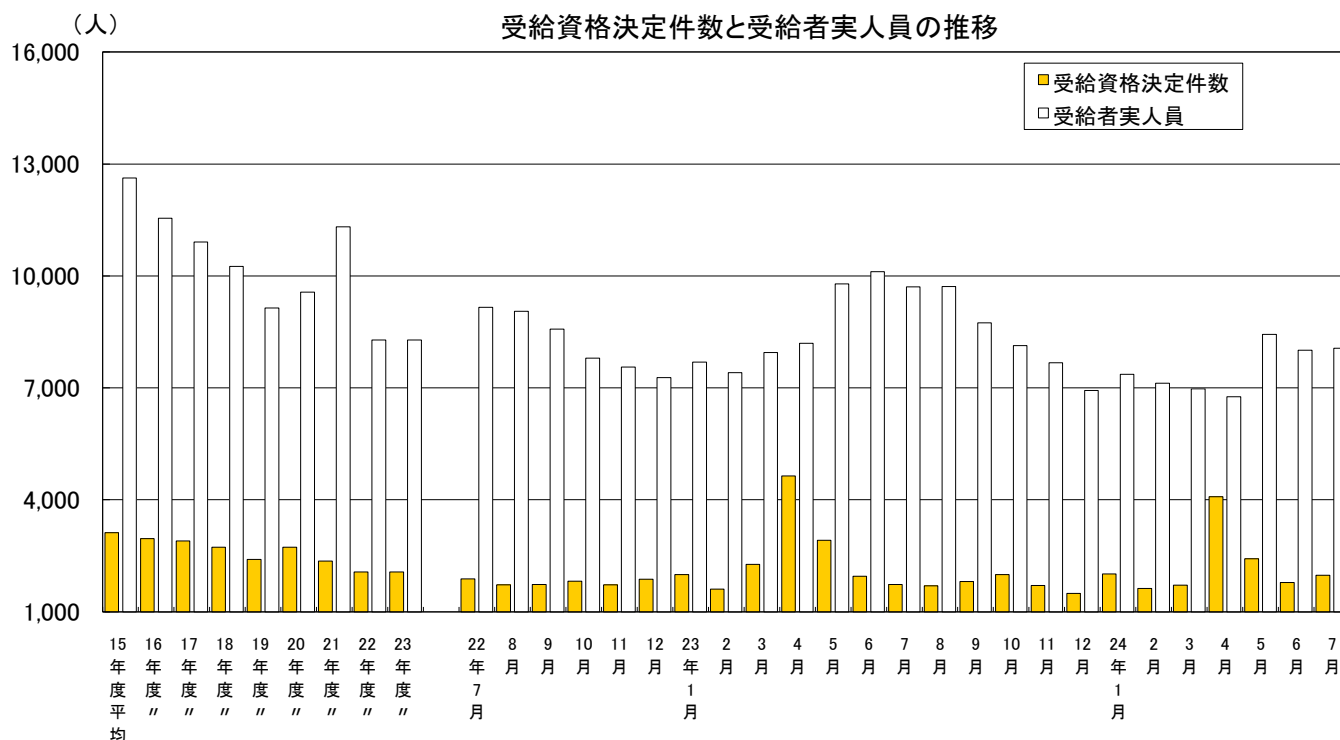
7月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.57倍となり、前年同月を0.15ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

7月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比16.9%（1,642人）減少し、前月比では0.7%（54人）増加の8,063人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比14.4%（249件）増加し、前月比では11.2%（200件）増加の1,983件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比95.3%（361人）増加、前月比52.0%（253人）増加の740人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。